

トレーラーハウス被災地活用シンポジウム2016

11月5日(土)～6日(日) 開催

トレーラーハウスの被災地における活用術～熊本地震から学ぶ今とこれから～

今年4月に発生した熊本地震では甚大な被害が発生しました。大きな災害のたびに、安全・安心な住まいをどうしたら迅速に適切に供給できるのか。どんな場なら心身ともに健康に過ごせるのか。この二つの課題は解決されないままです。

熊本県益城町では、トレーラーハウスが福祉避難所として日本で初めて活用されました。この活動を一過性にはいけない。

多くの方々と経緯と問題点を共有し、今後の災害に備えた相互協力・ネットワーク構築等を目的にシンポジウムを開催します。ぜひご参加下さい。

シンポジウム実行委員長
清水国明



総合プロデューサー
渡辺 実

シンポジウム パネリスト

- 熊本県益城町災害対策本部避難所対策チーム 丸山伸二氏
- 山口県周防大島町町議会議員 小田貞利氏
- 日本RV輸入協会会長 原田英世氏
- 日本レスキューRVパーク総合プロデューサー 清水国明氏
- コーディネーター：防災・危機管理ジャーナリスト 渡辺 実氏

開催要項

○日時：2016年11月5日(土)16:00～6日(日)11:30頃

○会場：清水国明の森と湖の楽園

山梨県南都留郡富士河口湖町小立5606

*5日、6日も富士急行河口湖駅～会場間のバス送迎あり

○定員：100名(申込先着順)

○対象：自治体職員、一般市民、防災研究者・関係団体、メディア、トレーラーハウスメーカー、キャンプ場経営・アウトドア用品メーカーなど

○懇親会参加費：お一人様 3,000円

*シンポジウム受付時にお支払いください。

*懇親会ご参加の方は体験宿泊が無料です。

○申込み締切：2016年10月28日(金)

別紙<参加申込書>に必要事項をご記入のうえお申し込みください。

体感型防災アトラクション LIFE LINE

災害発生！

仲間同士で協力し合い、無事に災害現場から脱出できるか？

知恵と体力をフル活用して・・・脱出せよ。

企画・制作 株式会社フラップゼロ

<トレーラーハウス被災地活用シンポジウム2016実行委員会>

- ・主催：特定非営利活動法人 河口湖自然楽校
- ・実行委員長：日本レスキューRVパーク総合プロデューサー 清水国明
- ・総合プロデューサー：防災・危機管理ジャーナリスト 渡辺 実
- ・事務局：特定非営利活動法人 河口湖自然楽校

プログラム

● 11月5日(土) (一日目) 一日目のみ参加も可能です。

14:00 受付開始・トレーラーハウス内覧・宿泊場所の確認

*トレーラーハウス宿泊には限りがございます。

別途、現地のドーム型コテージ、和室をご用意しております

16:00 トレーラーハウス被災地活用シンポジウム・提言

☆終了後、同会場にてメディア向けの記者会見を行います。

18:00 懇親会会場への移動。

18:30 懇親会BBQ

20:30 終了、各自宿泊

● 11月6日(日) (二日目)

8:00 朝食(軽食)

9:00 体感型防災アトラクション”LIFE LINE“

11:30頃 終了、解散

トレーラーハウスの居心地

アウトドアで目にはしても、そこに泊まるとなればなかなか・・・この機会に、居心地をぜひご自身で体感してください。

*ご宿泊多数の場合は相部屋となることもございますのでご了承ください。

*懇親会ご参加の方は宿泊無料(朝食付き)です。

<お問い合わせ>

下記メールアドレスまたはお電話でお願いします。

特定非営利活動法人河口湖自然楽校 担当：中西

info@ks-gakkou.org TEL 0555-73-4116

〒401-0302 山梨県南都留郡富士河口湖町小立5606

トレーラーハウス
体験宿泊

協賛●株式会社THEグローバル社 / 大塚製薬株式会社 / 株式会社グランゼーラ / 一般社団法人日本RV輸入協会
後援●内閣府(防災担当) / 熊本県益城町 / 山梨県 / 山梨県富士河口湖町 / 毎日新聞社甲府支局 / 読売新聞社甲府支局 / 十勝毎日新聞社
山梨日日新聞社 / 山梨放送 / テレビ山梨 / 一般社団法人スマートサバイバープロジェクト / 一般社団法人協働プラットフォーム
JOIN(一般社団法人移住・交流推進機構)
協力●株式会社フラップゼロ / ふるさとPR株式会社 / 株式会社山善 / 山梨スマートバーベキュー協会 / 株式会社大森畜産
株式会社まちづくり計画研究所 / 株式会社レスキュー・ビークルパーク